

綾部市I・Tビルにて上映決定

きょうされん40周年記念映画

星に語りて

Starry Sky

松本 勲 監督作品

「障害者が消えた...。」
東日本大震災 その時、障害者は—



とき : 2022年**10月23日** (日)
午前の部 : 9時15分 開場 9時45分 上映会
午後の部 : 13時30分 開場 14時 上映会

★午前の部、午後の部とも
「字幕」「音声ガイド」つきバリアフリー上映

入場料 : 大人 1000円 中/高生 500円 (小学生以下無料)

ところ : 綾部市I・Tビル

綾部市西町1丁目49



【駐車場】
綾部市役所
東駐車場をご利用ください

新型コロナウイルス感染予防のため定員 各100名

チケット事前予約制 お申込みは下記まで

※定員になり次第受付終了となりますので、お早めにご予約をお願いします。

主催 : 「星に語りて」綾部上映実行委員会 (※構成団体 いこいの村・あやベネットワーク)

予約 / お問い合わせ先

いこいの村聴覚言語障害センター

TEL(0773) 46-0101 FAX(0773) 46-0903

両丹聴覚障害者協会綾部支部
京都府中途失聴・難聴者協会綾部支部
綾部手話サークルあやとり
綾部市要約筆記サークルみみずく

後援 : 綾部市 / 綾部市教育委員会 / 綾部市社会福祉協議会 / 綾部市自治会連合会 / 綾部市民生児童委員協議会
あやベボランティア総合センター / きょうされん京都支部 / 京都新聞 / あやベ市民新聞社 / 株式会社エフエムあやベ

2011年3月11日

障害者の状況と 支援者の活動を描く 劇映画

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性の所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一步を踏み出そうとしていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していった。



「きょうされん」は1977年に障害のある人の願いをもとに16か所の共同作業所によって結成されました。現在、約1870カ所の障害者事業所が加盟とともに活動しています。

この映画は「きょうされん」の40周年記念事業として製作されました。

2011年3月11日午後2時

46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震。東日本大震災による傷跡は、未だ人々の心に深く刻まれています。しかし、1万8千人を超える死者・行方不明者の中で、障害のある人の死亡率が全住民の2倍だという事実を知る人は少ないので

はないでしょうか。

この映画は当時を知る証言者たちの取材に基づいて、その知られざる実情を山本おさむ氏の脚本と新進気鋭の松本勲監督によって描き出す群像劇です。実力派俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

脚本 山本おさむ

代表作：「そばもん ニッポン蕎麦行脚」「どんぐりの家」（日本漫画家協会賞優勝賞）「わが指のオーケストラ」

ウクライナの戦禍に苦しむ障害のある人への支援募金にも取り組みます

いこいの村 40周年記念祭

10月16日（日） 京都府中丹文化会館にて開催！！

「星に語りて」企画 日本障害者協議会 藤井克徳代表
による記念講演会があります！是非、こちらもお越しく下さい。

